

令和二年度 新学術領域研究「高速分子動画」シンポジウム開催報告

開催日：2020年10月19日-20日

会場：淡路夢舞台国際会議場+Online

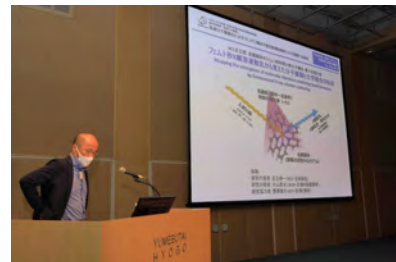
<報告>

2020年10月19-20日に淡路夢舞台国際会議場でシンポジウムを開催しました。新型コロナウイルスCOVID-19対策として、初めて会場とオンラインのハイブリッド開催となりました。計算科学、ケミカルバイオロジー、分光学、構造生物学等の分野から現地57名、オンライン55名(2日目は現地参加53名、オンライン参加45名)の方にご参加いただきました。シンポジウムは、オンライン発表に加えオンライン参加者からも積極的な質問が多く充実した内容となりました。ポスターセッションは会場参加者のみ・距離を保った状態での実施となりましたが、終始活発な議論が行われ、コロナ禍における貴重な対面での議論な場となりました。



シンポジウム①

- ・チャネルロドプシンの光活性化機構 (Online)
○濡木 理 東京大
- ・フェムト秒X線溶液散乱から見た分子振動と化学結合の形成
○足立 伸一 KEK 物構研



シンポジウム②

- ・TRPチャネルの熱刺激応答機構を解明したい
○日野 智也 鳥取大
- ・時間分解共鳴ラマン分光法で観るイオンポンプロドプシンの高速ダイナミクス (Online)
○水野 操 大阪大

- ・室温での結晶回折実験～開発と利用 (Online)

○熊坂 崇 高輝度光科学研究センター



シンポジウム③

- ・高感度動的結晶構造解析のための超低バックグラウンド試料セル

○鈴木 明大 北海道大

- ・QM/MM で見えてきた酵素反応の特徴

○庄司 光男 筑波大



新学術領域「高速分子動画」領域会議 (Closed)

- ・高速分子動画測定のための技術開発

○南後 恵理子 東北大

- ・細胞膜受容体の高速分子動画に向けたケミカルバイオロジー的アプローチ

○清中 茂樹 名古屋大



以上